

設置説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。



本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。組み立てするにあたり、手袋・プラスチックドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は設置方法、設置環境に合わせてご用意ください。

設置業者様へ

お客様の安全のため取付場所の強度は、本機の荷重に耐えられるよう十分ご注意ください。設計施工をお願いします。取付場所の構造や強度は、設置環境により異なりますので、施工業者様が調査の上、最適な取付方法を選択し施工を行なってください。

●設置後は、この組立設置説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しください。

BES-TL4S4W15
BES-PL4S4W15

もくじ

安全上のご注意	2~3
お取扱上のご注意	3
仕様	4~5
付属品の確認	5
設置の前に	6
別途ご用意いただくもの	6
設置要領	6~9

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



警告



組立ておよび設置は必ず専門技術者が2人以上で行う

1人での作業や不慣れな組立て・設置は、思わぬけがを負うことや、本機が落下する恐れがあります。



設置場所の強度確認の上、質量に耐える場所に設置する

長期使用を考慮し、強度不足の場合は必ず補強をしてください。思わぬけがを負うことや、本機が落下する恐れがあります。



異常時や本体に水が入った場合は、運転を中止する

異常な音や臭いがする場合等動作に異常がある時や、本体に水が入った場合は、すぐ「STOP」ボタンを押して使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。中止後は、取扱店または当社に相談してください。



バトンパイプにぶら下がったり、不安定な状態で物を掛けたりしない

本体またはバトンの破損の原因になり、危険も伴います。



バトンを無理に引き出さない

本体または機構が破損したり、ワイヤーが傷む原因になります。



分解や修理・改造をしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。修理は、取扱店または当社までご相談ください。



上限リミットを短くしない

出荷時の上限リミットから短くするとワイヤークリップを巻き込み、破損する恐れがあります。

注意



作業時はヘルメットの着用、高所では安全帯を使用する



バトンを昇降させる時は、周囲に人や障害物がないことを確認する



バトンが揺れている状態で、昇降させない



ワイヤーが緩んでいる状態で、昇降させない



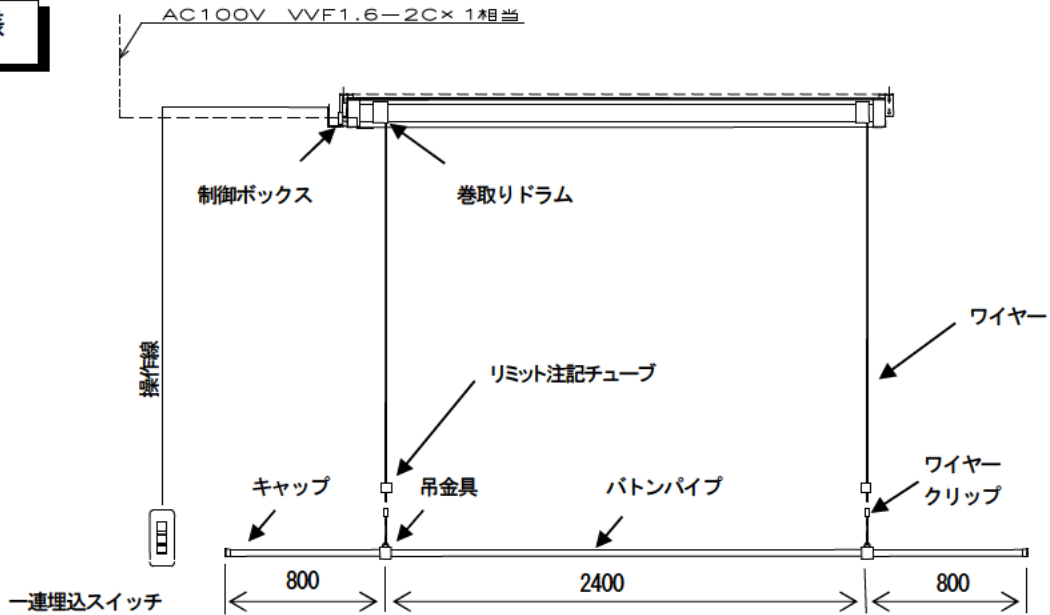
昇降動作中に、吊荷の下には入らない



吊りバトンとしての用途以外の使い方をしない
破損の原因になります。

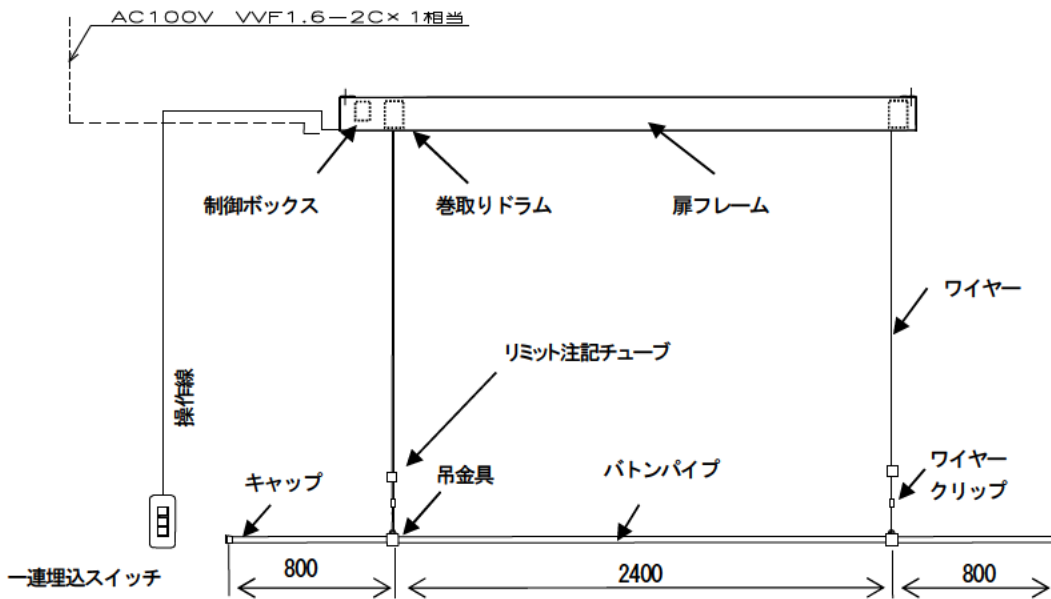
■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

仕様



形式	モーター 電源電圧/出力	ドラム径 (mm)	昇降速度 (mm/sec)	ボタンパイプ				ワイヤー 径	最大吊下 荷重 N (Kg)
				径	長さ	吊点数	ストローク		
BES- TL4S4W15	単相 100V/135W	φ80	70 (50Hz) 83 (60Hz)	φ25xt1.0	4000	2	4000	φ2	147 (15)

※ 上記仕様図は、設置の一例です。

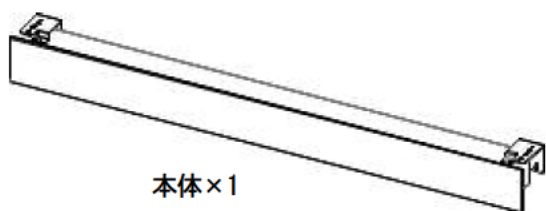


形式	モーター 電源電圧/出力	ドラム径 (mm)	昇降速度 (mm/sec)	ボタンパイプ				ワイヤー 径	最大吊下 荷重 N (kg)
				径	長さ	吊点数	ストローク		
BES- PL4S4W15	単相 100V/135W	φ80	70 (50Hz) 83 (60Hz)	φ25xt1.0	4000	2	4000	φ2	147 (15)

※ 上記仕様図は、設置の一例です。

付属品の確認

- 設置の前に必ず確認してください。
(物件によっては、内容が変更になることがあります)



本体×1



吊金具×2



ボタンパイプ×1



ゴムキャップ×2



一連壁埋込スイッチ×1



ワイヤークリップ×2



リミット調整六角レンチ×1



リミット注記チューブ×2

設置の前に

- 本機の取付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。
- 埋込スイッチの取り付けは、すでに設置されているスイッチボックスをご使用ください。
(スイッチボックスが無い場合は、市販の露出ボックスやはさみ金具等を別途ご用意ください。)
- 屋内配線工事は、必ず電気工事士の有資格者が行ってください。
- 設置後は、この説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しして、大切に保管いただいでください。

別途ご用意いただくもの

設置にあたり、以下の道具・資材および部材をあらかじめご用意ください。

- 作業高さにあった足場（ローリングタワーまたは建築足場）
- チェーンブロックまたは電動ウインチ（吊荷重に対応したもの）
- 電動ドリル、インパクトドライバー等
- スパナ類（本体の固定用）
- 電気配線、結線に必要な工具
- ドライバー、プライヤー、ワイヤーカッター
- 水準器
- 養生材
- 梱包材の解体道具

設置要領

以下設置要領は、取付用ボックスまたはブドウ棚が設置され、電源線 AC100V、操作線が用意されていることを前提に説明しています。

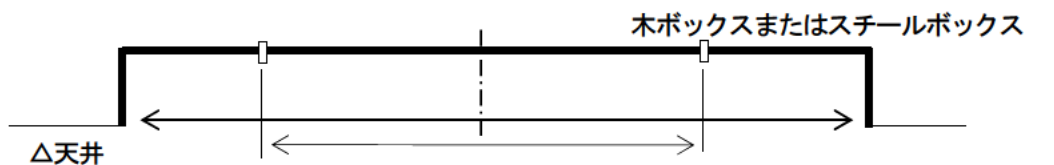
また、物件ごとに設置環境が異なることが多いため、一例として説明しています。
なお、お取り扱い上の不備、天災等によるトラブル、事故等について当社は責任を負いかねます。
基本的には、各現場毎の施工図面を用いて作業を進めてください。

作業手順は、以下の通りです。

- (1) 寸法確認
- (2) 本体の取り付け
- (3) バトンパイプの取り付け
- (4) 結線
- (5) リミット位置調整
- (6) ボルト類の増締め、確認

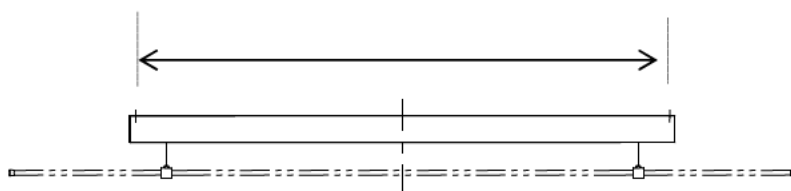
(1) 寸法確認

- ① 施工図面を元に、設置位置にて装置本体やバトンが干渉しないことを確認します。



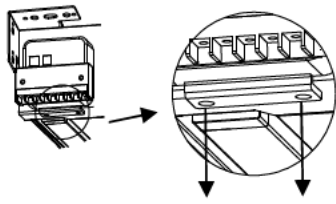
施工図面の取付ピッチにボルトが準備されていることを確認します。

- ① 品物のサイズおよび取付ピッチを確認します。

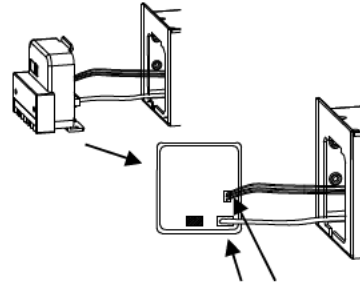


(2) 本体の取り付け

- ① 回路ボックスを取り外します。



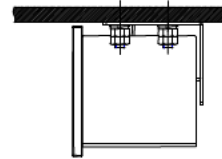
ねじを取り外します（2箇所）
紛失しないようにご注意ください



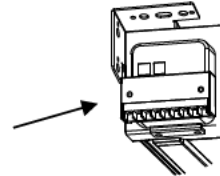
ロックをつまんで取り外します

- ② 設置位置の取付用ボルトに、本体を取り付けます。

※ダブルナット締めとします。

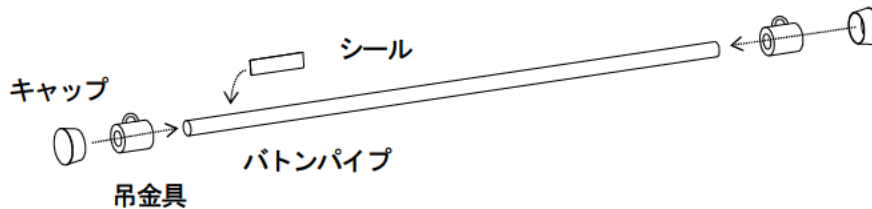


- ③ 回路ボックスを元に戻します。



(3) バトンパイプの取り付け

- ① バトンパイプに、吊金具、キャップを取り付け、シールを貼ります。



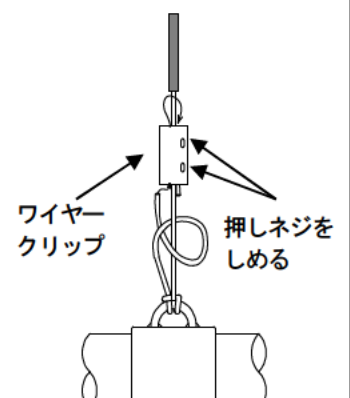
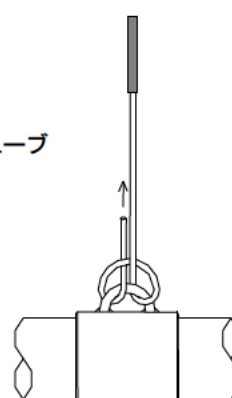
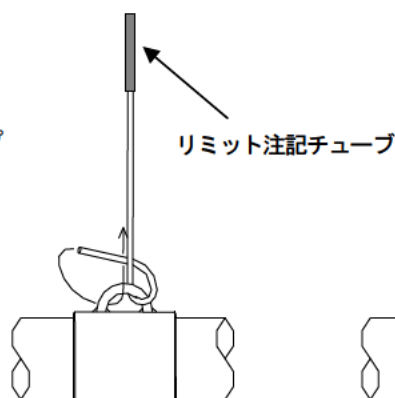
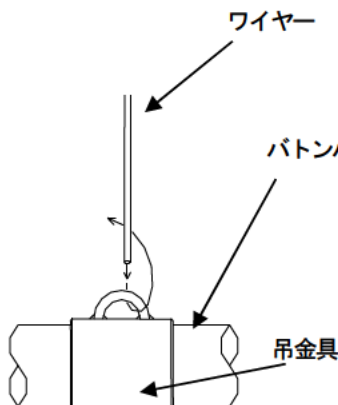
- ② 本体のワイヤーに付いているリミット注記チューブより下でボタンパイプの吊金具に結びます。リミット注記チューブ上端からワイヤー先端までの長さは300 mmです。ワイヤーの結び方は、下記を参照してください。
※具体的寸法 270 mm以下で結束すること。

(a) ワイヤーを吊金具の穴に通します

(b) ワイヤーの背面にまわして再度吊金具の穴に通します

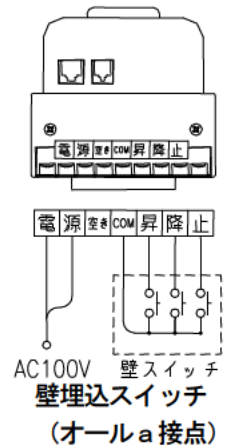
(c) ワイヤー先端を、(b)でできたワイヤーの輪に通し、ワイヤークリップで止めます

(d) ワイヤー先端を、再度輪を作り通した後にワイヤークリップに通し、ワイヤークリップで止めます



(4) 結線

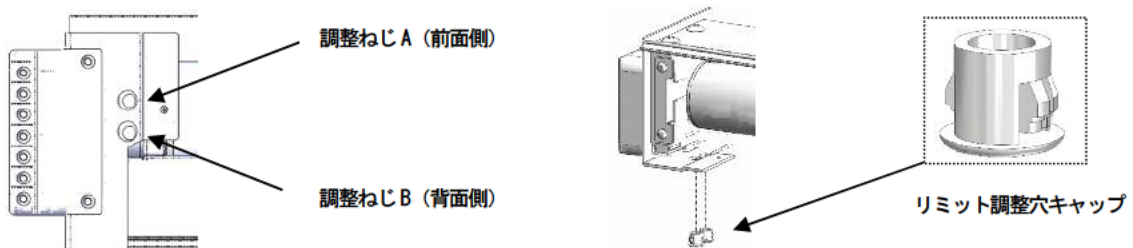
- ① 一次配線が通電されているかをテスター等によりチェックします。通電されていたら必ずブレーカーを切ってから作業を行ないます。線の本数、線径を確認し右図のように結線します。
- ② 結線に誤りが無いことを確認し、ブレーカーを入れます。昇・止・降が確実に動作するか確認します。この時、ワイヤーが解けないように常に下方向に荷重をかけながら行います



(5) バトンパイプの取り付け

※上限側リミットスイッチは工場出荷時に設定しておりますので、調整は不要です。ワイヤーに取り付けられたリミット注記チューブの上端が本体下面手前で停止する設定です。

- ① リミット調整穴キャップを内側よりツメを解除し、外してください。
- ② リミット調整は、下表をもとにリミット調整用六角レンチで行います。
- ③ リミット調整後、リミット調整穴キャップを差し込んでください。



調整ねじ	役割	左回し ↺	右回し ↻	注意
A	下限設定	下がる	上がる	
B	上限設定	上がる	下がる	触らないでください

(6) ボルト類の増締め、確認

各部調整後、本体取付ボルト・ナット、ワイヤークリップ等の増締めを行い、しっかりと固定されていることを確認してください。

製造販売元 株式会社オーエスエム

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail: info@os-worldwide.com